

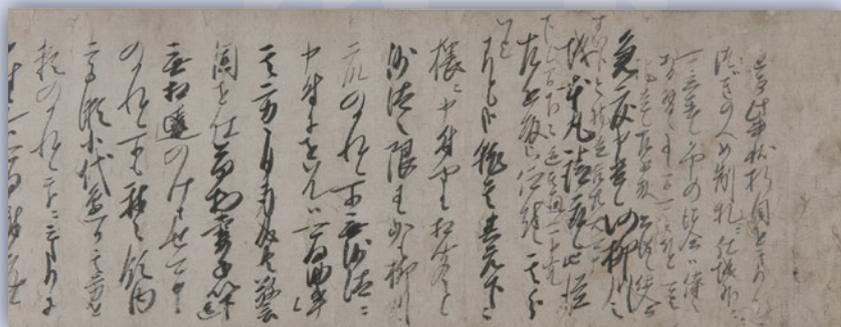
九州歴史資料館館蔵品展

戦国武将の書簡・

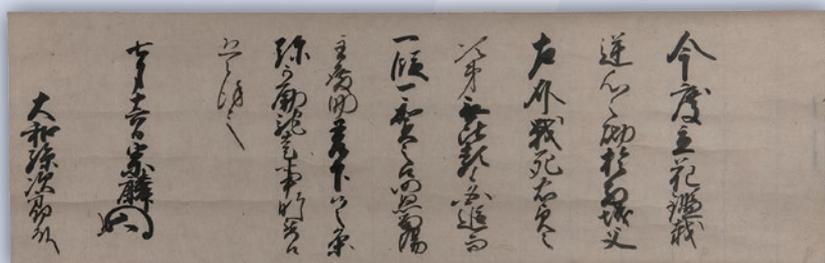
国絵図



▲「筑前国分間絵図」／江戸時代・天保15（1844）年／日下田定鷹筆



▲「加藤清正書状」（部分）今村家文書／桃山時代・慶長5（1600）年／加藤正次宛



▲「大友宗麟感状」今村家文書／室町時代・永禄11（1568）年／大和孫次郎宛

*所蔵・画像提供ともに九州歴史資料館

令和3年

7月31日(土) ▶ 8月29日(日)

入場無料

会場 大野城心のふるさと館3階 企画展示室

開場時間 午前9時～午後5時（入場は午後4時30分まで）

休館日 月曜日（但し8月9日（祝・月）は開館、8月10日（火）は閉館）

大野城心のふるさと館は、令和3年7月21日(水)に開館3周年を迎えます。今回、開館3周年を記念して、県内に存在する地域の様々な名宝を紹介する「令和3年度夏季特集展示」を開催します。

第1回は、九州歴史資料館(福岡県小郡市)の所蔵資料より、室町時代から江戸時代にかけての文書や国絵図を展示します。地域に受け継がれた資料たちを通して、福岡の歴史に迫ります。

新型コロナウイルス感染症等の影響により、展覧会の内容が変更・中止となる場合があります。予めご了承ください。

◆今村家文書—立花山城をめぐる争い

今村家は、桃山・江戸時代を通して柳川の立花氏に仕えた家系で、関ヶ原の戦いで西軍についた立花氏が敗れた際、一時的に加藤清正の家臣になりました。本展では、今村家文書の中から室町時代の資料を展示し、大友氏に仕えた親戚の大和家より伝わった文書や、加藤清正から家臣の加藤美作に宛てた柳川城の請け取りについての書簡などをご紹介します。



●大友宗麟感状

大友宗麟が大和孫次郎へ宛てた感状です。孫次郎の父である左介は、大友氏を裏切った立花鑑載を討つため立花山城において戦死しました。本書状は、その軍忠を賞して書かれたものです。

◆四つの藩の成立

天正 15 (1587) 年に薩摩の島津氏が豊臣秀吉に降伏すると、九州の戦国時代は終わりました。関ヶ原の戦いのうち、徳川家康が江戸幕府を開くと、現在の福岡県域には福岡(黒田氏)・久留米(有馬氏)・柳川(立花氏)・小倉(小笠原氏)の四つの藩が成立しました。各藩では藩主の居城や城下町の整備、街道の整備、新田開発などの基盤整備が進められました。

●筑前国分間絵図

江戸時代の筑前国を描いた絵図です。街道が朱線、河川は青線、国郡境は黒線で表現されています。福岡藩領の村・浦は「○」印で記されています。

現在の太宰府市域は福岡藩の領地で、筑前国御笠郡仲島村・畑詰村・山田村・筒井村・中村・乙金村・瓦田村・白木原村・下大利村・上大利村・牛頸村にあたり、日田街道(博多街道)という大きな街道も通っていました。



出品目録 *所蔵は全て九州歴史資料館

No.	資料名	員数	法量(縦×横 cm)	時代	作者・宛名等
1	大友宗麟感状 今村家文書	一幅	15.5×49.3	室町時代・永禄 11 (1568) 年	大和孫次郎宛
2	大友義統感状 今村家文書	一通	11.2×24.3	安土・桃山時代	大和孫次郎宛
3	加藤清正書状 今村家文書	一通	16.9×106.6	桃山時代・慶長 5 (1600) 年	加藤正次宛
4	筑前国分間絵図	一枚	76.5×108.5	江戸時代・天保 15 (1844) 年	日下田定胤筆

市民ミュージアム 大野城心のふるさと館

Onojo Cocoro-no-furusato-kan City Museum

開館時間＝午前 9 時～午後 7 時
休館日＝月曜日(月曜日が祝日の場合、翌平日)
入館料＝無料
TEL 092-558-5000 / FAX 092-558-2207
<http://www.onojo-accm.jp/>

次回予告

大野城心のふるさと館 3 周年記念 令和 3 年度夏季特集展示 2

「貝原益軒と竹田春庵」※入場無料

会期 | 令和 3 年 9 月 4 日(土)～10 月 3 日(日)

会場 | 大野城心のふるさと館 3 階企画展示室

開場 | 午前 9 時～午後 5 時(入場は 4 時 30 分まで)

福岡県立図書館に寄託されている竹田文書より、貝原益軒と竹田春庵(定置)や江戸時代の筑前についての資料を紹介します。



〒816-0934 福岡県大野城市曙町 3 丁目 6-3
※駐車場は隣接する大野城まどかびあ駐車場(無料)をご利用ください。団体等、大型バスで来館されるお客様は、事前に当館までご連絡をお願いします。

当館は新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組んでいます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。